

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-267874

(43)Date of publication of application : 28.11.1991

(51)Int.Cl.

H04N 1/32

(21)Application number : 02-066201

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 16.03.1990

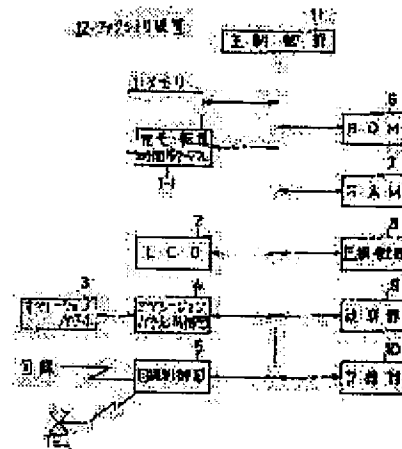
(72)Inventor : INOUE YASUHIRO
NAKATO TOSHIHIKO
SHIBATA KAZUHARU

(54) TRANSFER CONTROL SYSTEM FOR FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily transfer an original while the transfer time is limited within a designated transfer time by adopting the constitution such that a transfer time zone is registered in advance corresponding to a destination and an original is transferred within the transfer time zone only corresponding to a transmission request.

CONSTITUTION: A facsimile equipment 12 is provided with a destination transfer time zone table 1-1 registering a destination and a transfer time zone corresponding to each other. The destination transfer time zone table 1-1 is referenced upon a transfer request to transfer an original within the transfer time zone registered in advance, and the transfer request is stored at the outside of the transfer time zone and the original is transferred when the transfer time zone is reached. Thus, the original is transferred within the designated transfer time zone.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 特許出願号

⑯ 公開特許公報(A)

平3-2678

⑮ Int. Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

⑰ 公開 平成3年(1991)

H 04 N 1/32

Z

2109-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (

⑱ 発明の名称 ファクシミリ装置の転送制御方式

⑲ 特 願 平2-66201

⑳ 出 願 平2(1990)3月16日

㉑ 発 明 者 井 上 康 弘 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通
内

㉒ 発 明 者 中 塔 利 彦 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通
内

㉓ 発 明 者 柴 田 一 治 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通
内

㉔ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

㉕ 代 理 人 弁理士 岡田 守弘

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置の転送制御方式

2. 特許請求の範囲

ファクシミリ装置によって原稿を指定した転送
時間帯に転送する転送制御方式において、

宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録する
宛先・転送時間帯テーブル(1-1)を設け、

転送要求に対応してこの宛先・転送時間帯テー
ブル(1-1)を参照して予め登録されている転送時

ファクシミリ装置によって原稿を指定した転
送時間帯に転送する転送制御方式に関し、

宛先と転送時間帯とを対応づけて登録してお
転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送
行い、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送
することを目的とし、

宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録す
宛先・転送時間帯テーブルを設け、転送要求に
応じてこの宛先・転送時間帯テーブルを参照し
予め登録されている転送時間帯のときに原稿を
送り、一方、転送時間帯でないときに当該転送
要求を記憶しておき転送時間帯が到来したときに

従来、ファクシミリ装置による原稿の転送は、手動で転送指示あるいは回線を介して転送要求して一時的に受け付け、そのまま転送するようにしていた。このため、ある時間帯に限定して転送し得ないという問題があった。

本発明は、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録しておく、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行い、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送することを目的としている。

(課題を解決する手段)

第1図を参照して課題を解決する手段を説明する。

第1図において、ファクシミリ装置12は、原稿を送受信するものである。

宛先・転送時間帯テーブル1-1は、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録するテーブルである。

(作用)

転送要求などの情報を記憶するメモリである。

宛先・転送時間帯テーブル1-1は、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録するテーブルであって、例えば第2図に示すようなテーブルである。

LCD2は、液晶パネルであって、時間(例えば現時間、通信時間など)、送信中の宛先、電話番号などを表示するものである。

オペレーションパネル3は、オペレータが各種操作を行うためのパネルである。

オペレーションパネル制御部4は、オペレーションパネル3からの入力を取り込むなどの制御を

本発明は、第1図に示すように、転送要求に対応してこの宛先・転送時間帯テーブル1-1に登録して予め登録されている転送時間帯のときに稿を転送し、一方、転送時間帯でないときには転送要求を記憶しておく転送時間帯が到来したときに原稿を転送するようにしている。

従って、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録しておく、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行うことにより、指定時間の範囲内限定して原稿を転送することが可能となる。

(実施例)

次に、第1図から第4図を用いて本発明の1実施例の構成および動作を順次詳細に説明する。

第1図において、ファクシミリ装置12は、転送要求に対応して宛先・転送時間帯テーブル1-1に予め登録されている転送時間帯内に原稿を当宛先に送信したり、送られてきた原稿を受信したりするものである。

メモリ3は、宛先・転送時間帯テーブル1-

する読み書き可能なメモリである。

圧縮・復元部8は、原稿から読み取った画像データを圧縮したり、受信した圧縮された画像データを元の画像に復元したりするものである。

読取部9は、原稿を読み取り、画像データに変換するものである。

記録部10は、受信して復元した画像データに印字などして記録するものである。

主制御部11は、CPU(中央処理装置)なであって、各種制御を行うものである。

ファクシミリ装置12は、1ないし11から成され、原稿を送受信するものである。

図表テーブル1-1を参照して8:00~10:00の転送時間帯のときのみ原稿を転送し、それ以外のときに当該転送時間帯が到来するまで待って転送する。同様に、宛先のFAX(B)に対しては、13:00~15:06の転送時間帯のときのみ原稿を転送する。

次に、第4図フローチャートを用いて第1図、第2図構成における動作を詳細に説明する。

第4図において、①は、着呼する。これは、第1図で回線を介してファクシミリ装置12に着呼することを示す。

②は、DTMF信号が受信されたか否かを判別する。これは、DTMF信号（プッシュホン式電話の番号などを押下したときに発生するビーパーという信号）が受信されたか否かを回線制御部5で判別する。YESの場合には、③を行う。NOの場合には、④で待機する。

⑤は、転送要求コマンドか否かを判別する。これは、DTMF信号を用いて転送要求コマンドが受信されたか否かを回線制御部5で判別する。Y

ESの場合には、⑥を行う。NOの場合には、⑦を行う。

⑧は、転送時間帯か否かをROM6内のプログラムをもとに主制御部11が判別する。これは、⑨YES、⑩YESで転送要求コマンドが受信されたので、現時間が第2図宛先・転送時間帯テーブル1-1を参照して当該転送要求コマンドで指定された宛先の転送時間帯に含まれるか否かをROM6内のプログラムをもとに主制御部11が判別する。YESの場合には、転送時間帯内であるので、メモリ1あるいはRAM7に蓄積などされている原稿の画像データを指定された宛先に転送する。一方、NOの場合には、転送時間帯内ではないので、⑪、⑫、⑬を行う。

⑭は、メモリ1に記憶する。これは、⑬NOで現時間が転送時間帯内ではないと判明したので、⑭の旨および宛先をメモリ1に記憶する。

⑮は、転送時間帯か否かを判別する。これは、現時間が、⑭でメモリ1に記憶した宛先の転送時間帯内になったか否かをROM6内のプログラ

をもとに主制御部11が判別する。YESの場合には、⑯で蓄積されている原稿の画像データを指定された宛先に転送する。NOの場合には、⑮を繰り返して行い、待機する。

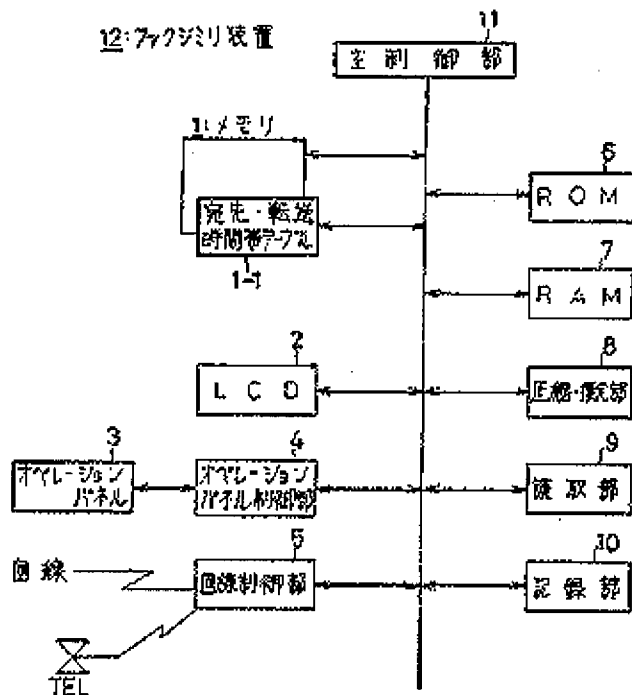
また、⑰は、オペレータがオペレーションパネル3から転送要求を行う。この転送要求に対応して、⑱以降を行う。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、宛先に対応づけて転送時間帯を予め登録しておき、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行う

図中、1~11は宛先・転送時間帯テーブル、12はオペレーションパネル、5は回線制御部、8は圧縮・復元部、11は主制御部、12はファクシミリ装置を表す。

特許出願人 富士通株式会社
代理人 弁理士 岡田 守弘

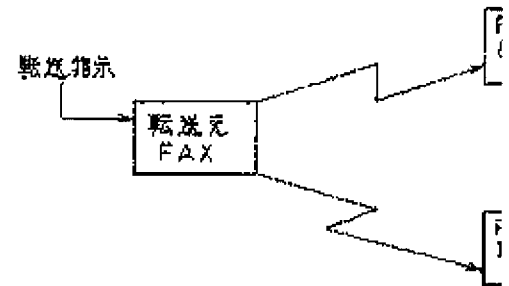


本発明の1実施例構成図
第 1 図

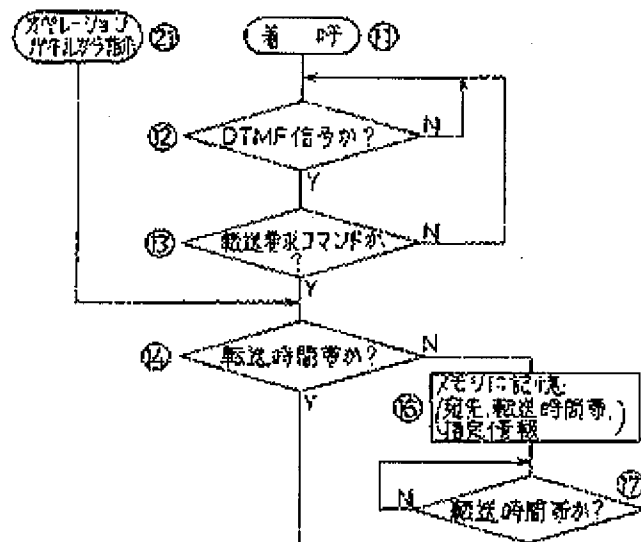
14

NO.	転送時間帯	宛
1.	8:00~10:00	000-xxx-△△
2.	13:00~15:00	000-△△△-xy
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

本発明に係る転送時間帯
第 2 図



本発明の転送説明図
第 3 図



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成10年(1998)10月23日

【公開番号】特開平3-267874

【公開日】平成3年(1991)11月28日

【年道号数】公開特許公報3-2679

【出願番号】特願平2-66201

【国際特許分類第6版】

H04N 1/32

【F I】

H04N 1/32 Z

手続補正書

平成 9 年2月28日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成 9 年 特 許 願 第 66201 号

2. 補正をする者

事件との関係	特許出願人
住 所	東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
名 称	松下電送株式会社
代 表 者	橋 野 隆

3. 代理人

住 所	〒2004 東京都多摩市砂袋1-24-1 新都市センタービル5階 冠田国際特許事務所
-----	---

3. 補正の内容

(1) 発明の名称「ファクシミリ装置の伝送制御方式」を「ファクシミリ装置」に正誤します。

(2) 明細書の特許請求の範囲の欄を附図の通りに補正致します。

(3) 明細書の第2頁第16行目～同第18行目の「本発明である。」を以下の通りに補正致します。

「本発明は、原稿を指定した転送時間内に転送する機能を有するファクシミリ装置に関する。」

(4) 明細書の第3頁第12行目の「第1図」を以下の通りに補正致します。

「上記目的を達成するために、本発明は図1(a)と図1(b)の転送手段と、転送手段と転送時間とを対応づけて予め記憶した第2の記憶手段と、前記第1の記憶手段内の宛先が前記第2の記憶手段内の送先宛先に一致する場合、第2の記憶手段の宛先情報に基づいて対応する宛先へ転送する転送制御手段とを備えたものである。これをさらに具体的に第1図

2. 特許請求の範囲

図情報と画面情報の転送元である宛先を記憶する部；前記部と、転送先端末と転送時間とを対応づけて予め記憶した第2の記憶手段と、前記第1の記憶手段の宛先が前記第2の記憶手段内の転送先と一致する場合、宛送時刻が前記転送先等に対応する転送時刻に到達したことを検出して前記第1の記憶手段より宛先情報を検出して対応する宛先へ転送する転送制御手段とを具備するファクシミリ装置。